

○水生生物モニタリング調査結果一覧（太田川F）

＜太田川F 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
F－1	○	○	○	○	○	○

＜太田川F 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
調査地点	緯度	経度	日	時刻（水）	時刻（泥）	水温（℃）	泥温（℃）	性状	色相	混入物	全水深（m）	透視度（cm）
F－1	37.5975°	140.9252°	R6.8.26	08:50	09:00	24.5	24.8	砂	10Y4/3	なし	0.40	39

＜太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
調査地点	緯度	経度	日	時刻												
F－1	37.5975°	140.9252°	R6.8.26	08:50	7.2	1.6	3.7	8.6	7.1	0.04	2.1	4	1.4	N.D. (0.0017)	0.13	0.0045

注）N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0.85～2mm) (%)	中砂 (0.25～0.85mm) (%)	細砂 (0.075～0.25mm) (%)	シルト (0.005～0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
F－1	37.5975°	140.9252°	R6.8.26	09:00	7.3	439	23.2	1.4	2.2	2.640	25.3	30.2	36.0	5.4	3.1		0.99	4.8	6.0	400	0.78

注）N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

< 太田川F 分析項目 水生生物 >

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
F-1	太田川本流	37.5975°	140.9252°	R6. 8. 23	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.0038	—	—	—	130	N. D. (31)	130	—	
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	59	0.014	幼虫	—	—	—	110	N. D. (14)	110	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	41	0.010	幼虫(ヤコ)	—	—	25	N. D. (4. 7)	25	—	
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	オジロサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ										
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	20	0.011	幼虫	—	—	27	N. D. (3. 2)	27	—	
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	82	0.11	成体	—	—	90	N. D. (2. 4)	90	—	
					節足動物	軟甲	エビ	ヌマエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	270	0.062	未成年体	—	—	71	N. D. (4. 8)	71	—	
					節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクズガニ	13	0.098	未成年体	—	—	88	N. D. (2. 7)	88	—	
					軟体動物	腹足	盤足目	カワナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワナ	30	0.028	成体	—	軟体部	76	N. D. (6. 8)	76	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	4	0.38	未成年魚	空胃	内臓除去	64	N. D. (1. 6)	64	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	100	0.23	未成年魚	—	—	57	N. D. (1. 8)	57	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Candidia temminckii</i>	カワムツ	275	1. 1	未成年魚/成魚	—	—	41	N. D. (1. 7)	41	1. 6	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	3	0.14	成魚	不明消化物	内臓除去	54	N. D. (2. 2)	54	—	
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	15	0.74	成魚	—	—	142. 6	2. 6	140	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	32	0.10	未成年魚/成魚	—	—	130	N. D. (2. 5)	130	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ										
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius</i> sp.	ヨシノボリ属										
										粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.22	—	—	88. 5

※ 1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※ 2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※ 3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※ 4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※ 5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40 μ mのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※ 6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※ 7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※ 8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。